

神戸市交通局の取り組み

・地下鉄西神・山手線への新造車両の導入

○概要

西神・山手線車両の全28編成の更新を行い、平成30年度から平成34年度まで順次導入する。

新造車両は既存車に比べ、座席幅の拡張や着席位置のわかりやすい窪み付きシートの採用、冬季の早朝時間帯に備えた急速暖房機能の設置などにより快適性を向上させるほか、ホームドアとの連動対応などによる安全性の向上、車いす・ベビーカースペースを拡張し、全車両に増設するなどによるバリアフリー対応、照明装置のLED化などによる省エネ性向上にも考慮した仕様としている。



新造車両(6000系)



車いす・ベビーカースペース

○導入計画

年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
導入数	2編成	7編成	6編成	7編成	6編成

・地下鉄西神・山手線ホームドア設置

駅ホームからの転落や車両との接触事故防止のため、西神・山手線全駅へのホームドアの設置を進めており、平成31年度は、西神中央・名谷・新長田の3駅のホームドアの実施設計を完了し、工事に着手するとともに、平成35年度における全駅設置に向けての設計業務をすすめる。

・駅施設のユニバーサル対応の推進

このほか、各駅でのユニバーサル対応についても取り組みを進めている。

【主な取り組み内容】

①三宮駅

- ・西口のホーム～改札階のエレベーター設置(平成30年12月25日供用開始)
- ・東西改札間の連絡通路の整備工事の実施(平成31年度着工開始、平成32年度前半完成予定)

②新神戸駅

- ・改札内下りエスカレーター整備工事の実施(平成31年度)

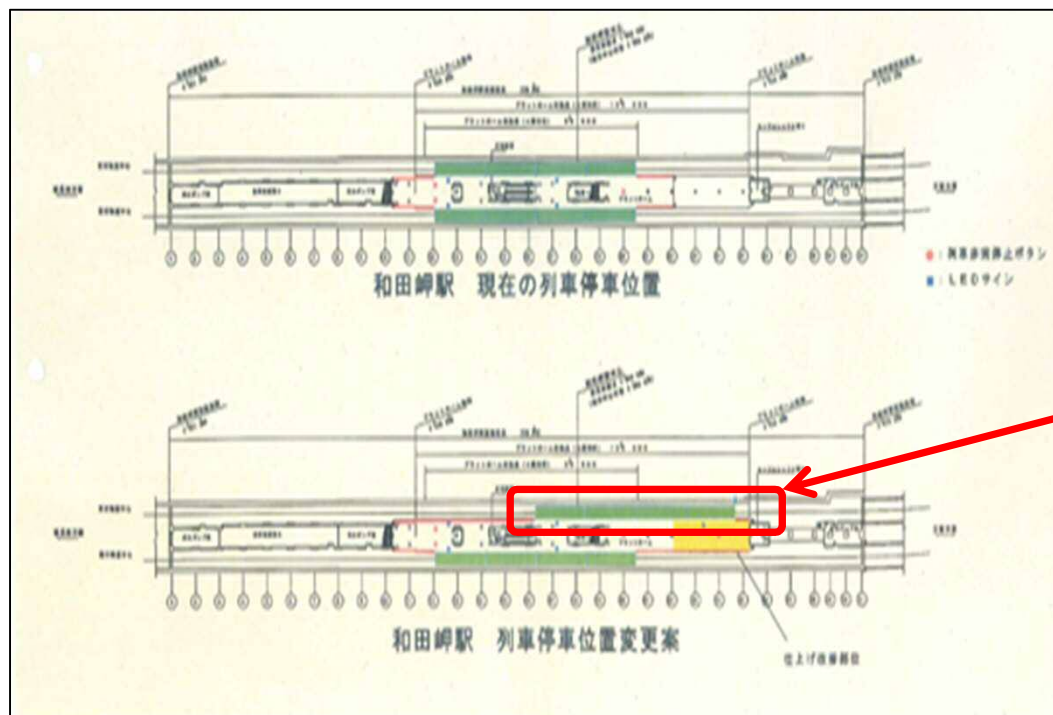
③湊川公園駅

- ・神戸電鉄との乗換経路のエレベーター設置位置の調査検討(平成30年度)
- ・神戸電鉄との乗換経路のバリアフリー施設の実施設計(平成31年度)

・地下鉄海岸線和田岬駅 ホーム上の安全対策強化

○概要

海岸線和田岬駅の混雑緩和を目的に、ホーム等の改修工事を行う。具体的には、1番線の列車停止位置を現在よりも三宮・花時計前駅寄りに変更するためのホーム拡張工事等を平成31年度～32年度で実施する。



列車停止位置を2両分東へ変更

・市バス料金收受システムの更新

バス料金收受システムの更新にあたり、お客様の利便性向上を図るとともに、日々の利用データを正確に把握し、お客様のニーズに沿ったきめ細やかなサービスの充実を今まで以上に進めて、より多くの方々に市バスをお使いいただけるよう取り組んでいく。

- ①お客様の利用動向を正確に把握するため、降車時のみタッチする方式(1タッチ)から、乗車時にもタッチする方式(2タッチ)に変更する。
- ②詳細な利用データが取得できるICカードへの移行を促進するため、磁気定期券・磁気カードを廃止する。
- ③システムの更新にあわせて、車内の停留所名表示器を更新し、案内力の強化を図る。

▼現行



▼更新後 (イメージ)

